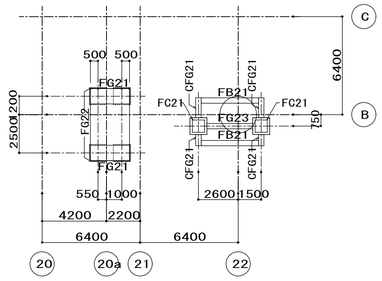
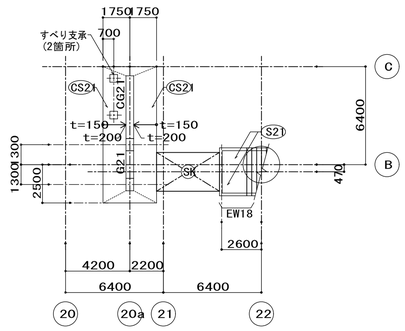
基礎梁伏図　A1：1/200　A3：1/400

注）特記なき限り、下記による。
1. 基礎梁下端はTP+0.9とする。
2. 礎柱天端TP+2.65とする。



屋根伏図　A1：1/200　A3：1/400

注）特記なき限り、下記による。
1. ＣＳ21の天端レベルはTP+6.22とする。
2. (S21)　の天端レベルはTP+4.41とする。



杭・基礎伏図　A1：1/200　A3：1/400

注）特記なき限り、下記による。
1. 基礎下端レベルはTP+0.8とする。

1階床伏図　A1：1/200　A3：1/400

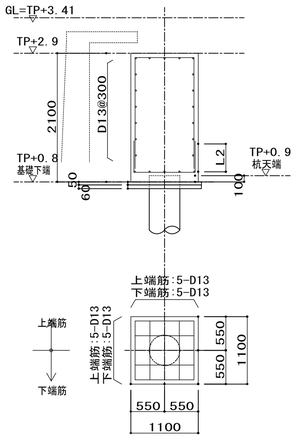
注）特記なき限り、下記による。
1. (S21) のレベルは意匠図による。

Ⓑ 通り軸組図　A1：1/200　A3：1/400

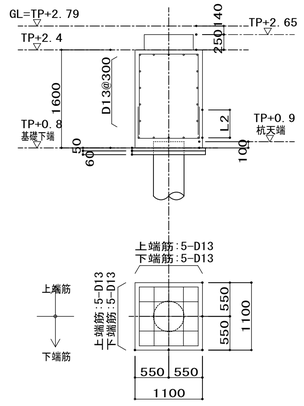
20a 通り軸組図　A1：1/200　A3：1/400

基礎断面表　A1：1/50　A3：1/100

F21

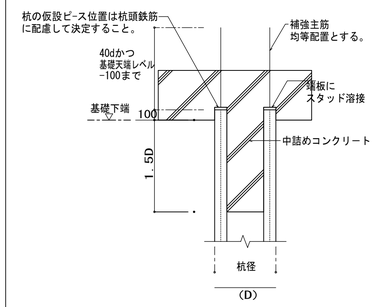


F22



杭頭補強要領(NAA形)

※一般部の杭頭補強は下記による。



注）1. スタッド溶接接合の補強筋は、スタッド溶接用異形鉄筋(SD345相当、KSW490同等品)とする。
2. スタッド溶接作業者は、スタッド協会実施の「スタッド溶接技術検定試験」のB級合格者とする。
3. スタッド溶接面は、作業前にグラインダー加工により錆やコンクリート等を除去し、清掃を行う。
4. スタッド溶接施工前に、テストピースに2本溶接し、30°曲げ試験を行う。
5. スタッド溶接施工後、スタッド100本を1ロットとし、100本に2本の割合で15°曲げ試験を行う。
溶接部に割れその他の欠陥が生じない場合は合格とする。
6. 合格ロットはそのまま受けいれる。不合格となった場合は同一ロットからさらに2本のスタッドを検査し、2本とも合格の場合はロットを合格とする。ただし、これら2本のスタッドのうち1本以上が不合格となった場合、そのロット全数について検査する。

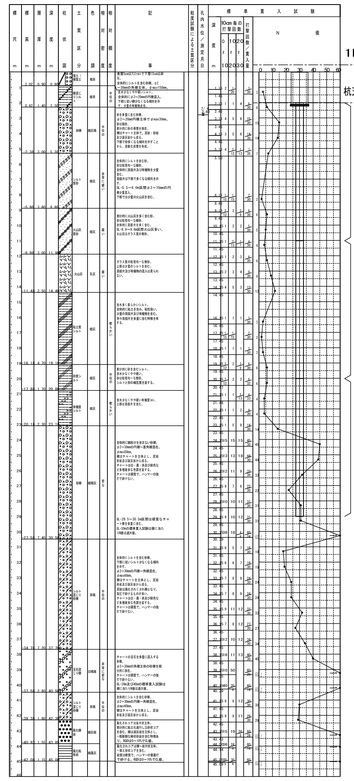
杭断面表

注）1. 特定埋込み工法とし、支持力係数αは250以上とする。
プレボーリング拡大根固め工法とし周辺固定液を使用する。
2. 支持地盤はN値30以上の玉石混じり砂礫層とする。
3. 杭の水平方向の位置ずれの精度は100mm以下とする。
4. 継手の工法は無溶接継手とし、ベアリングジョイント同等品とする。
5. 杭頭補強要領(NAA形)は受水槽置場構造図に倣うものとする。

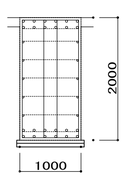
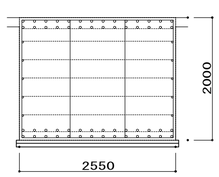
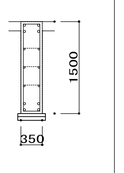
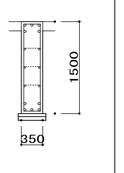
符号		F21，F22	
長期許容耐力		650 kN	
短期許容耐力		1300kN	
杭体コンクリート強度		FC85	
杭頭鉄筋		12-D25	
上杭	CPRC杭	500 φ	
	杭種	I 種	
	長さ	9 m	
中杭	PHC杭	500 φ	
	杭種	B 種	
	長さ	9 m	
下杭	PHC杭	500 φ	
	杭種	A 種	
	長さ	9 m	

土質柱状図　A1：1/200　A3：1/400

No. 9　平成26年 6月13日～平成26年 8月11日
孔口標高　TP +2.92m



基礎梁断面表　A1：1/50　A3：1/100

符号	FG21	FG22	FG23・CFG21	FB21
位置	全断面	全断面	全断面	全断面
断面				
上端筋	12-D25	28-D25	4-D25	5-D22
下端筋	12-D25	28-D25	4-D25	5-D22
あばら筋	Ⅲ-D13 @200	Ⅲ-D16 @150	□-D13 @200	□-D13 @200
腹筋	10-D13	10-D13	6-D13	6-D13
備考				

礎柱断面表　A1：1/50　A3：1/100

符号	FC21
断面	
主筋	16-D22
帯筋	□-D13 @100
備考	

着工	平成 28年 6月25日		
竣工	令和 元年 11月30日		
監理		監理　日建・上田特定監理業務等共同企業体	
施工		施工　大成・大旺新洋特定建設工事共同企業体	

完成図　構-87

日建・上田特定設計委託業務
共同企業体

高知市都市建設部公共建築課						
担当	担当	係長	課長補佐	副参事	課長	

高知市新庁舎建設工事

外部階段 構造図（1）

構 87
8－6

NO. 0－140004－B